

調査の概要と成果

リモートセンシングによる調査地点の 水質簡易測定と水生昆虫生息調査を行った。

- •第1回調査:2002年秋
- 第2回調査:2003年10月12日~14日 「トキの野生復帰と生息地保護の課題」、 (2003)放送大学研究年報 第21号
- •第3回調査:2005年1月10日~12日 「新潟県、佐渡トキ自然復帰プロジェクト地における 冬の水辺の付着珪藻、水生昆虫の成育調査.」

(2006)朱鷺の現在・過去・未来ー朱鷺と生息地の保護研究資料集,日中朱鷺保護研究会

- 第4回調査: 2005年12月24日~26日
- 第5回調査:2006年7月15日~17日(トキ野生順化施設見学)

「農業の生物多様性保全機能を活用した 山村経済振興策に関する日中比較研究」

(2007)科研成果報告書 課題番号15580203

調査地点

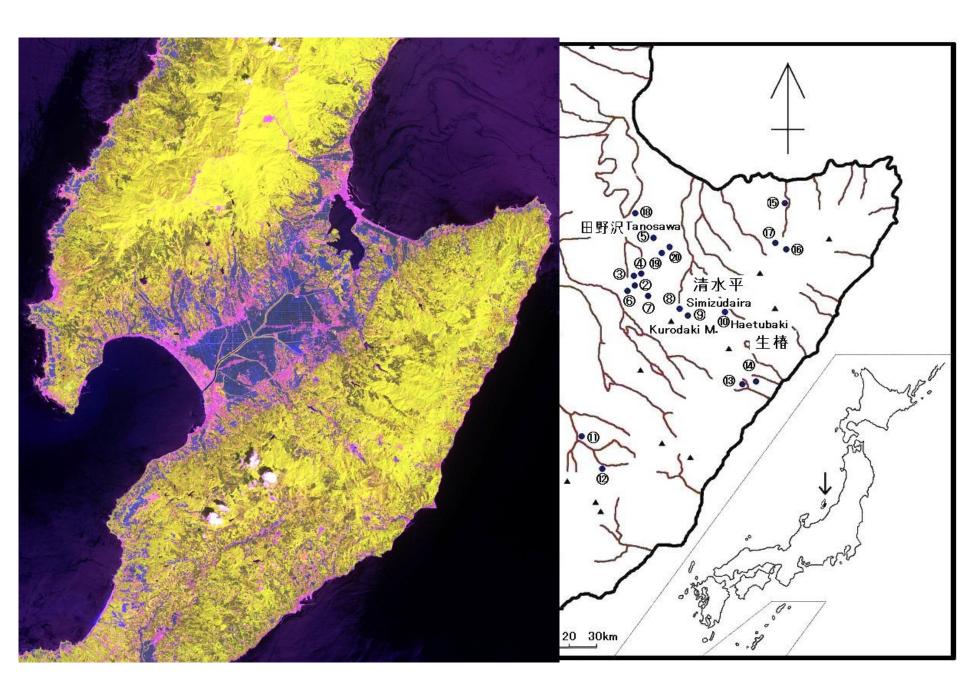
- ▶畑野•八瀬松(表2調査地点番号⑪)
- · 両津市立間(13)
- 両津市両尾(⑮) 両津市 真更川上流(⑯)
- •高平林道

(トキ野生化訓練センター候補地)下の沢(②)

- •田野沢(不耕起水田)(5)
- •清水平

(「トキ保護センター」の跡地)の湿地と水路(⑨)

生椿の沢と水路(⑩)



調査項目

①珪藻類組成

②水質調査

③水生昆虫(底生動物を含む)

調査のまとめ

- ・ 佐渡は自然豊かとはいえなかった.
- 自然豊かな島であるといわれるが、水生昆虫群集については,佐和田町史 (1988)「離島である佐渡の河川は規模も小さく,水生昆虫層は貧弱で,特別 な種も見られない」
- ・ 佐渡の魚類は、アユやウグイのように産卵や成長のために海と川を 行き来する二次淡水魚やクサフグなどのように海水魚でありながら 汽水域、淡水域にも入り込む周辺的淡水魚が主体。コイやフ ナなどの純一次淡水魚は少ない(佐和田町史:1988).

ダムができて行き来できない。

• 平野部の河川や農業用水路は、治水のためコンクリート張りになっているから、本土と同様に、河川の生態系は貧弱になっていると思われる。河川は、トキの天敵とされるカラスやサギなど雑食性や魚食性の鳥たちの重要な餌場である。

- ・ **餌場としての田んぼの生物がトキの野生復帰のため注目されているが、本調査でそれもまた貧弱である**ことがわかった. 現在行なわれている不耕起栽培冬季灌水田などで地元農業者の努力により生物量が増大したとしても、貧弱となった河川から餌を得ることのできないカラスやサギ等も餌場として田んぼを利用することは、当然である.
- ・ 田んぼの生態系がもし回復できたとしても、狭い限られた島内では、他の鳥たちと<mark>競合は避けられない、トキはまたかつてそうであったように、彼らに田んぼから追いやられる</mark>(松本義男:2002)ことが、また繰り返されるのではないだろうか。
- トキの餌場を充実させるためは、広く豊かな海からの恵みを佐渡の河川に蘇らせることが、同時に重要であると考える。





トキ野生馴化施設予定地 新穂正明寺林道 1



林道入り口に立つトキ野生馴化施設アクセス道路の看板



除雪の終点。右が山側で調査地点は少し奥にある



採集場所 **湧水の湧き出し口。水温7.8℃、流幅54cm、水深6cmの 細流 採集はサーバーネットと25cm枠トを使用し4回採集**



採集した水生昆虫







トキ野生順化センター視察 2006年7月16日















新潟県特別栽培農産物認証制度生産

登 録	番号	生—05—0—024	
登録生	産者名	佐渡農業協同組合 代表理事組合長 本間	
生 産	者 名	(有) セブンシステム	
農産	物名	米「水稲」(コシヒカリ)	
作型(栽培予定期間)		水稲	(4月
ほ場所在地(番地)		正明寺964,964-1	
ほ場面積	a (区画数)		1
栽培	at 1051	土づくり (堆肥等) 化学肥料 使用量 10a当り	資材名 自家製肥料(米ぬか・魚粉・コーラ 魚ソリューブル 米ぬか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		化学合成 農整 関数 その他角 数・量	農業成分名

不耕起栽培の特徴

□ 耕さないから年々お米が美味しくなる。 ○ 年きものが水を浄化し、環境を復元する。 ○ 性康な苗を、田植えする。 ○ 健康な苗を、田植えする。 それが「不耕起栽培米」です



田んぼにメダカが帰ってきた! いや、それだけじゃありません。トンボもカエルも……みなさんは「田んぼでは 田起しや代かきをして耕さないと、イネが育たない」と思っていませんか? 実はそんなことはないのです。耕 さない田んぼでは、たくさんの藻類や、タニシやドジョウ、ミミズやカエルなど小さな生きものたちが、イネと いっしょに生命を育みます。鳥も集まります。藻類はたくさんの酸素を出し、生命を支えます。生きものたちは 自然の肥料を生み出し、田んぼに張った水を浄化してくれます。生きものが安心して生きられるそんな「耕さな い田んぼ」で育ったイネは病気にもかかりにくく、虫に食べられても強いのです。これまでの農業の常識とはま ったく逆の「不耕起栽培」で育った安全で安心なおいしいお米。結いま~とは、このお米をおすすめします。



耕さない田んぼのお米

ご注文・お問合せは 結いま~と www.rakuten.co.jp/saroute/ TEL 03-5285-5096 F4X 03-5285-5098

コシヒカリ4.5kg入り WWW.rakuten.co.jp/saroute/ TEL 0.35285-5098 FAX 0.35285-5098 楽天市場「結いま~と」から、お届けします 商品番号 100051 価格5.040円 (秘込) 送料別

◆住所/〒169-0075 東京都新館区高田馬場1-31-18 ◆お支払い方法/クレジット、代金引換、 銀行振込等◆送料/750円~1,530円 地域によって異なります◆返品/原則不可。万一不良品が 発送された場合は商品到無後3日以内に 03-5285-5098 までご連絡下とは

結いま~と

いろんな運ぶを提案します



132





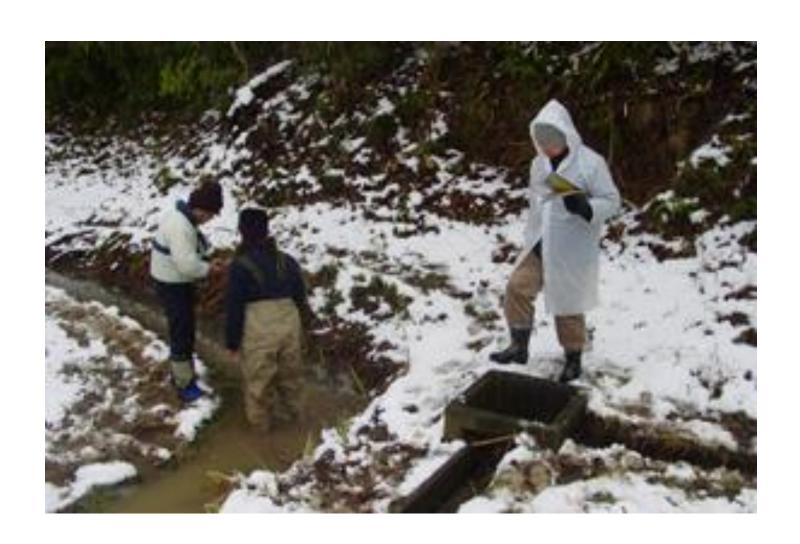
正明寺水田



田野沢



水質調査。水路での採水の様子

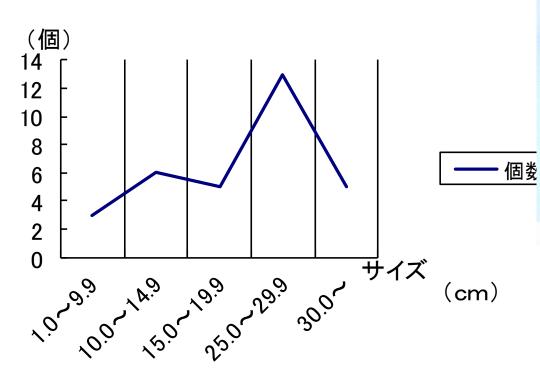


S-4 · 田野沢 1



雪がシャーベット上になっている田圃と用水路(手前)

田野沢生物調査から



カワニナ空殻の殻高階級別分布

生まれた稚貝が少なかったこと。また成貝が多い のは養殖されたものが放流されていることも考えら れる。生殖バランスが崩れていると見える。



カワニナ空殻



ヒルとオニヤンマのヤゴ













生椿で採取した生物



田んぼの用水路 土水路で稲刈り後でも水が流れていた が、生物は少なかった。



上流の沢 佐渡はヨコエビが多い。トワダカワ ゲラも見られた。



























地元の方たちとの交流 2006年7月16日









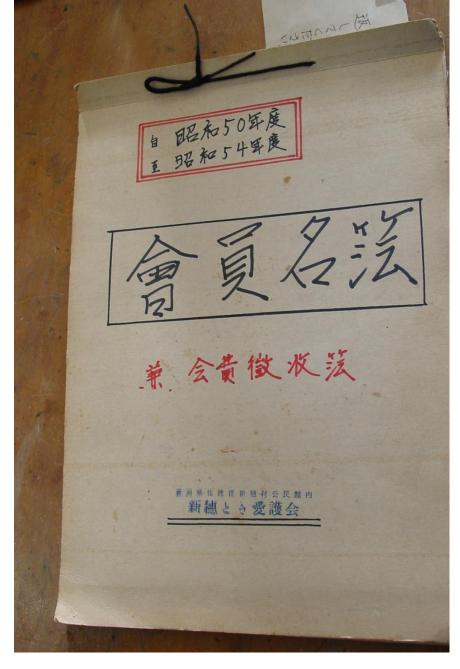


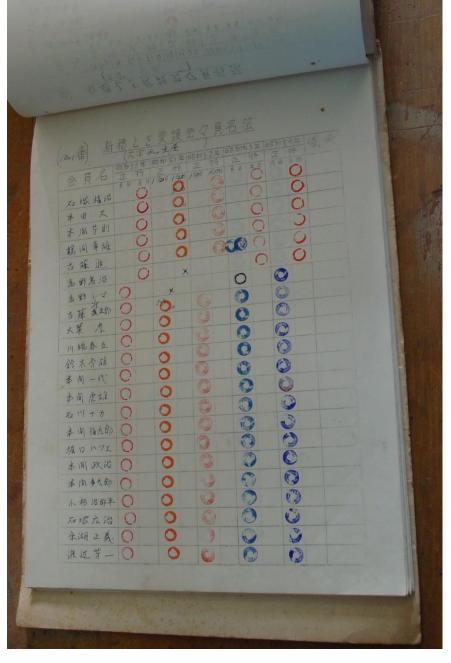


須田氏から新穂中学の体育館に古い文献が保存されていると聞き、学校へ









新穂とき愛護会の貴重な資料があり、川島さんの年表作成につながる



